

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 成学社

コード番号 2179 URL <http://www.kaisei-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤田 正人

四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6373-1595

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,880	4.6	△357	—	△368	—	△245	—
26年3月期第1四半期	1,798	2.6	△371	—	△362	—	△237	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △244百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△41.72	—
26年3月期第1四半期	△40.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,841	—	1,937	—	—	33.2
26年3月期	6,076	—	2,205	—	—	36.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 1,937百万円 26年3月期 2,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.60	—	4.60	9.20
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	4.75	—	4.75	9.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,787	4.1	1	△95.3	△10	—	△3	—	△0.62
通期	10,584	5.5	590	14.1	568	11.4	300	△2.8	51.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,876,000 株	26年3月期	5,864,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	260 株	26年3月期	260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	5,872,671 株	26年3月期1Q	5,848,592 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税法の改正に伴う駆け込み需要の反動による影響が見られたものの、企業業績の好転や雇用環境の改善がみられたことで、緩やかな景気回復基調となりました。

このような状況の下、当社グループでは新規開校による営業エリアの拡大とともに「かいせい こどもスクール」のブランド展開等により顧客層をより低年齢に広げ、事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は1,880,500千円（前年同期比4.6%増）、営業損失は357,857千円（前年同期は営業損失371,137千円）、経常損失は368,432千円（前年同期は経常損失362,778千円）、四半期純損失は245,012千円（前年同期は四半期純損失237,298千円）となりました。なお、当社グループの主要事業である教育関連事業は、塾生数が期首より月を追うほどに増加すること、並びに講習会・特別授業の実施月の売上高が増加することで収益性が高くなる構造となっております。従いまして、塾生数が少なく講習会等の影響が少ない第1四半期は、収益性が低く営業損失を計上しておりますが、概ね当初の計画通りに推移しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①教育関連事業

クラス指導部門においては、市場規模が縮小する厳しい環境のなか、当社グループにおいても塾生数の減少が続いております。当年度においては、カリキュラムの見直し等により塾生1人当たりの単価上昇を図っており、この施策は概ね当初の見込通りに推移しております。

一方、個別指導部門においては、主要ブランドである「個別指導学院フリーステップ」の売上高および塾生数は堅調に推移しております。

この結果、売上高は1,819,440千円（前年同期比4.6%増）となり、売上高の増加および広告宣伝費を中心とした費用削減効果によりセグメント損失（営業損失）は254,705千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）264,688千円）となりました。

②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペースを賃貸している不動産賃貸事業については、前年と同水準の賃貸状況でありました。このため、売上高は13,058千円（前年同期比4.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は11,816千円（前年同期比6.6%減）となりました。

③飲食事業

飲食事業については、平成26年4月に大阪府吹田市にオープンした焼肉店「炎楽」の寄与により売上高は48,000千円（前年同期比5.7%増）となったものの、新店舗オープンのための費用、食材費および人件費の増加により、セグメント損失（営業損失）は9,007千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）1,170千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末から223,993千円(10.0%)減少し、2,013,765千円となりました。これは主として営業未収入金の前連結会計年度に比べ288,438千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末から10,716千円(0.3%)減少し、3,827,881千円となりました。これは主として無形固定資産が前連結会計年度に比べ9,233千円、建物及び構築物が同4,732千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末から234,710千円(3.9%)減少し、5,841,647千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末から19,181千円(0.8%)減少し、2,468,792千円となりました。これは主として短期借入金の前連結会計年度に比べ279,998千円増加、未払法人税等が前連結会計年度に比べ110,205千円、買掛金が同91,931千円、賞与引当金が同63,737千円、前受金が同21,000千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から53,394千円(3.9%)増加し、1,435,825千円となりました。これは主として長期借入金の前連結会計年度に比べ51,968千円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末から34,213千円(0.9%)増加し、3,904,618千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末から268,924千円(12.2%)減少し、1,937,028千円となりました。これは主として利益剰余金の前連結会計年度に比べ271,986千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(平成26年5月15日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953,046	908,050
営業未収入金	883,909	595,471
商品	57,434	45,575
貯蔵品	22,879	17,333
その他	350,873	479,376
貸倒引当金	△30,382	△32,041
流動資産合計	2,237,759	2,013,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,371,004	2,404,182
減価償却累計額	△917,274	△955,184
建物及び構築物（純額）	1,453,729	1,448,997
土地	923,058	923,058
その他	512,708	528,906
減価償却累計額	△324,324	△340,743
その他（純額）	188,383	188,163
有形固定資産合計	2,565,171	2,560,219
無形固定資産		
のれん	43,513	40,756
その他	92,353	85,876
無形固定資産合計	135,866	126,633
投資その他の資産		
差入保証金	813,986	821,570
その他	323,572	319,458
投資その他の資産合計	1,137,559	1,141,028
固定資産合計	3,838,598	3,827,881
資産合計	6,076,357	5,841,647

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	137,889	45,958
短期借入金	453,336	733,334
1年内返済予定の長期借入金	351,621	364,328
未払法人税等	118,903	8,697
賞与引当金	94,368	30,630
前受金	612,558	591,558
その他	719,296	694,285
流動負債合計	2,487,974	2,468,792
固定負債		
長期借入金	1,016,321	1,068,289
役員退職慰労引当金	19,702	21,451
退職給付に係る負債	12,195	12,195
資産除去債務	269,227	272,665
その他	64,984	61,224
固定負債合計	1,382,430	1,435,825
負債合計	3,870,404	3,904,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	233,608	235,108
資本剰余金	173,608	175,108
利益剰余金	1,797,042	1,525,056
自己株式	△52	△52
株主資本合計	2,204,206	1,935,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,746	1,808
その他の包括利益累計額合計	1,746	1,808
純資産合計	2,205,953	1,937,028
負債純資産合計	6,076,357	5,841,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,798,377	1,880,500
売上原価	1,763,575	1,866,730
売上総利益	34,802	13,769
販売費及び一般管理費	405,939	371,627
営業損失(△)	△371,137	△357,857
営業外収益		
受取利息	446	387
受取配当金	131	153
祝金受取額	160	500
保険解約返戻金	14,112	-
その他	765	658
営業外収益合計	15,614	1,700
営業外費用		
支払利息	6,522	6,250
固定資産除却損	532	5,902
その他	201	122
営業外費用合計	7,256	12,275
経常損失(△)	△362,778	△368,432
特別損失		
減損損失	-	852
特別損失合計	-	852
税金等調整前四半期純損失(△)	△362,778	△369,285
法人税、住民税及び事業税	8,253	6,468
法人税等調整額	△133,733	△130,740
法人税等合計	△125,480	△124,272
四半期純損失(△)	△237,298	△245,012

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
四半期純損失(△)	△237,298	△245,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	61
その他の包括利益合計	194	61
四半期包括利益	△237,104	△244,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△237,104	△244,951
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,739,313	13,637	45,425	1,798,377	—	1,798,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,829	—	6,829	△6,829	—
計	1,739,313	20,466	45,425	1,805,206	△6,829	1,798,377
セグメント利益又は 損失(△)	△264,688	12,649	△1,170	△253,210	△117,927	△371,137

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△117,927千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用117,927千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	1,819,440	13,058	48,000	1,880,500	—	1,880,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,393	—	7,393	△7,393	—
計	1,819,440	20,451	48,000	1,887,893	△7,393	1,880,500
セグメント利益又は 損失(△)	△254,705	11,816	△9,007	△251,897	△105,960	△357,857

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△105,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用105,960千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。